

【エクアドル内政・外交：2011年8月】

1. 概要

- 8月 3日 不法賭博カジノの強制閉鎖
- 8日 国会敷地内への非常事態宣言延長
駐ボリビア・エクアドル大使に先住民指導者ウルクアング氏を任命
- 10日 政権二期目2周年施政報告
- 11日 国会副議長の選出
- 12日 李相得・国会議員(韓)の当国訪問
- 15日 カリオン国連代表部大使辞任
- 29日 張昆生・外交部部長助理(中)の当国訪問
- 30日 コロンビア政府、ヤスニITTプロジェクト支援表明

2. 内政

(1) コレア大統領による二期目2周年施政報告

10日、国会議事堂に於いて独立202周年を祝い記念式典が行われ、コレア大統領及び主要閣僚は政権二期目の施政報告を行った。コレア大統領は施政報告を40分程行い、“司法改革の正当性”を語るとともに“報道メディアへの批判”を繰り返した。大統領演説後、①グラス戦略部門調整大臣、②ナランホ人的能力・知識調整大臣、③ペニヤ生産雇用競争力調整副大臣、④モレノ副大統領、⑤オレジャーナ治安調整大臣、⑥サンチェス社会開発調整大臣、⑦エスピノサ遺産調整大臣、⑧パティエーニョ外相、⑨キング経済政策調整大臣、⑩ソリス政策調整大臣が各々4～7分づつ施政報告を行った。最後に、再びコレア大統領が演台に立ち30分程度演説を行った。右演説では“9月30日騒擾事件での政府処遇の正当性”につき主張した。国会議事堂には閣僚、国会議員、政府関係者、外交団など1200名ほどが集まった。

(2) 国会副議長の選出

11日、国会は第一副議長にカシネリ与党議員(Juan Carlos Cassinelli)、第二副議長にバラレソ野党議員(Rocio Valarezo Ordonez:独立党)を選出した。

カシネリ与党議員を第一副議長候補(任期2011年8月～13年5月)とする動議がアレハンドラ与党議員(Maria Alejandra Vicuna)より本会議に提出され、賛成票63・反対票60・白票1を以て選出された。

バラレソ野党議員を第二副議長候補とする動議がラレア与党議員(Lidice Larrea)より本会議に提出され、賛成票64・反対票59・棄権1を以て選出された。

(3) 不法賭博カジノの強制閉鎖

3日、政府はグアヤキル、マチャラ、クエンカなど主要都市を中心とする8県55ヶ所の不法賭博場を閉鎖した。グアヤキルでは17ヶ所が閉鎖された。国内には不法賭博場が200ヶ所程あるといわれている。

(当館注:5月7日、国民投票が実施され、質問「カジノや遊技サロンのような賭博事業を禁じることに賛成か」との問いに対し、賛成52.34% 反対47.66%の投票結果となった)

(4) 国会敷地内への非常事態宣言延長

8日、大統領令第846号を以て、国会敷地内の非常事態宣言が延長された。非常事態宣言は本令署名日から60日間。

3. 外交

(1) 国連関係

15日、カリオン(Francisco Carrion)国連代表部大使(元外務大臣:05年-07年)は“個人的理由”により辞意を表明した。同大使は本年10月まで現職に留まる。

(2) 対コロンビア関係:ヤスニITTプロジェクト

30日、オルギン・コロンビア外相はヤスニITTプロジェクトに総額10万ドルを支援すると表明した。

(3) 対ボリビア関係

8日、コリア大統領は大統領令第847号に署名し、駐ボリビア・エクアドル大使にリカルド・ウルクアング(Ricardo Ulcuango)を任命した。コリア大統領は「先住民指導者のウルクアング氏を任命したことは、現政府が推し進める“市民外交”の提案を強化するうえで重要な一歩である」と述べた。

(当館注:ウルクアング氏はキトから80km北にあるカヤンベ先住民共同体の指導者である。先住民出身者からの大使任命はエクアドル史上初のことである。)

(4) 対リビア関係

23日、エクアドル外務省はリビア問題に憂慮を表明した。ラファエル・キンテロ外務省アジア・アフリカ・大洋州次官は、リビアにおける事件に関し、エクアドルはリビア領土が尊重されておらず合意できないとの立場を表明した。また、国際条約が履行され、リビアにおける人権が尊重されるようエクアドルの懸念を表明した。

(5) 対韓関係

12日、李相得(Lee Sang Deuk)国会議員(注:李議員は李明博大統領の実兄)は当国を訪問し、大統領と会談を行った。コリア大統領は「科学・技術・知識・その他分野における国家の発展のため、韓国から学ばなければならない。韓国政府は種々のプロジェクトへの融資に関心を示しており、これら融資は長期且つ低利のものである。韓国政府の偉大な政策決定、強い願望があり、エクアドルを大きなポテンシャルと発展のための特性を有する国として見ている。韓国はエクアドルに非常に強く賭けている」と述べた。

(6) 対中関係

29日、エクアドル外務省では第6回エクアドル・中国政策協議が実施され、パティーニョ外務大臣、ルーカス外務副大臣、及び張昆生(Zhang Kunsheng)外交部部長助理(外務次官補)などが出席した。

張部長助理はエクアドル政府の歓待に謝意を示し、エクアドルの天然資源の豊富さ及び国民の勇敢さを強調するとともに、パティーニョ外相を“中国国民の古い親友”と評した。